



「未来の学術振興構想(2023)」の 目指したもの

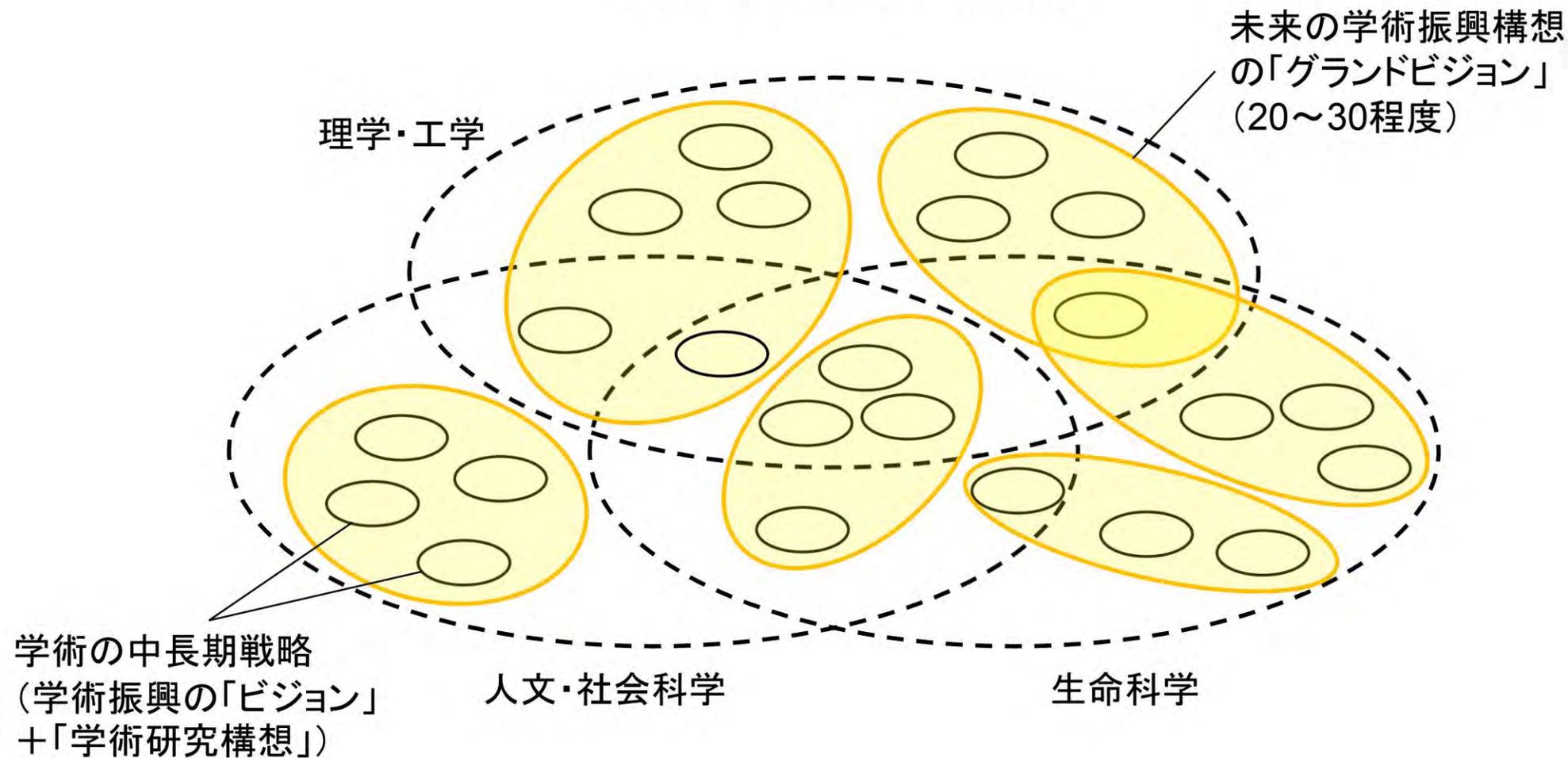
日本学術会議主催学術フォーラム
2024年10月4日

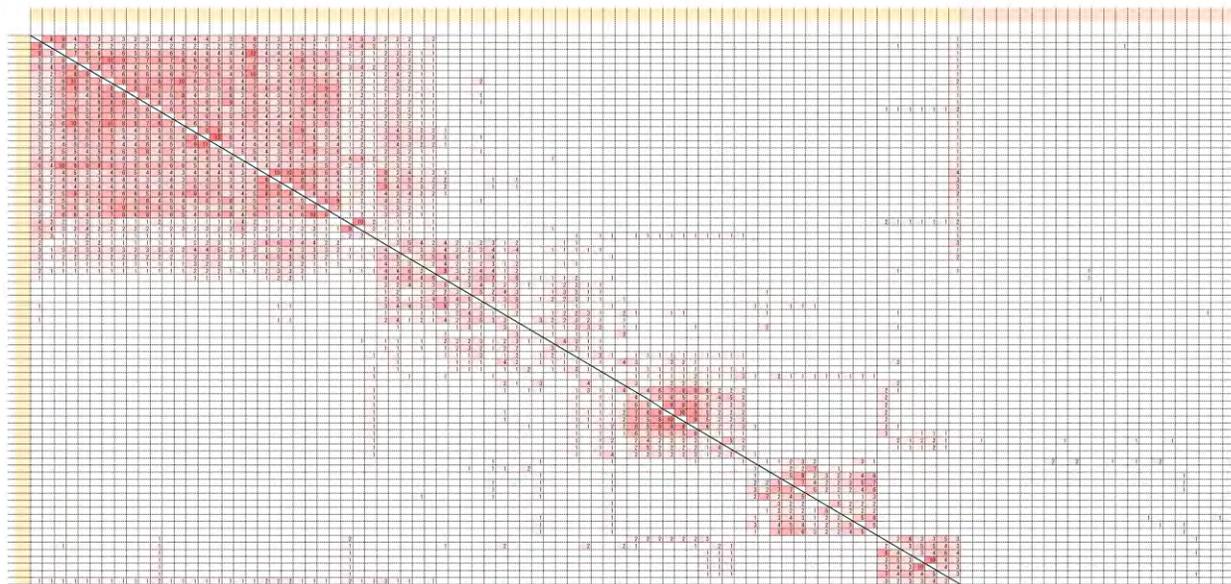
第26期日本学術会議会長
光石衛

- 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」を踏まえた科学的助言機能の強化
 - 中長期的視点、俯瞰的視野、分野横断的な検討を重視
- 気候変動、カーボンニュートラル等のサステナビリティや新型コロナウイルス感染症対応等の取組への社会的関心の高まり
 - 社会と学術・科学技術、行政と学術との関わりの変化等

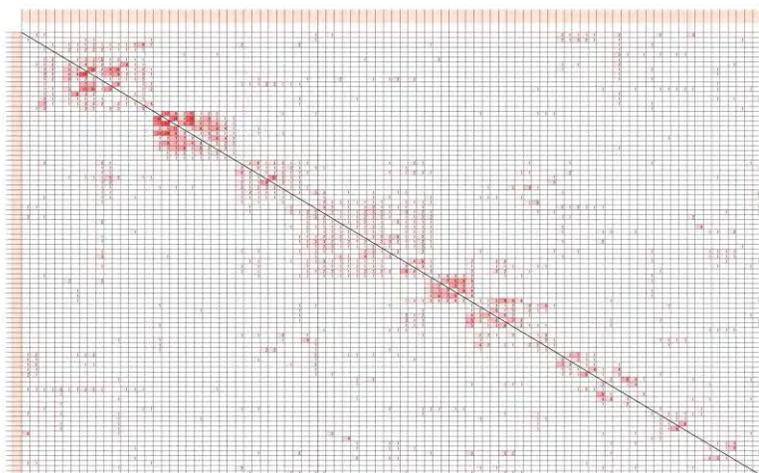
- 提言「未来の学術振興構想(2023年版)」を策定
 - 今後20~30年頃まで先を見据えた
 - 学術振興の複数の「グランドビジョン」と
 - その実現の観点から必要となる「学術の中長期研究戦略」から構成
- 科学者コミュニティからの「学術の中長期研究戦略」の提案を公募
 - 科学者コミュニティから自由な発想に基づくボトムアップを重視
 - 研究・教育機関、学協会、日本学術会議会員・連携会員及び若手研究者から広く募集
 - 複数の研究コミュニティが連携した複合的な提案
 - 予算の下限を設けず人文・社会科学分野が中核的に関わる提案について積極的に掘り起こし
- 科学者コミュニティから提案された各「ビジョン」を単純に束ねるだけではなく、さらに一段高い分野横断的な視点から検討を加えて、「グランドビジョン」を策定
- 「グランドビジョン」の実現に必要な「学術の中長期研究戦略」を掲載

未来の学術振興構想

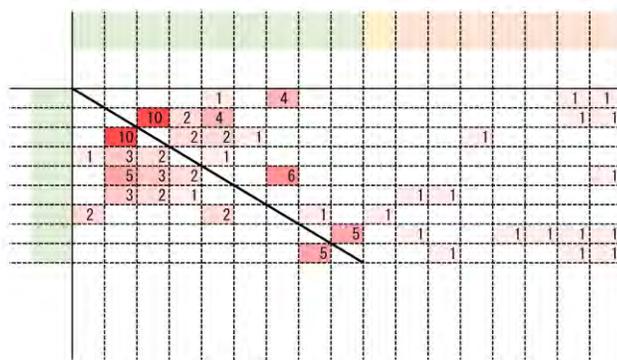




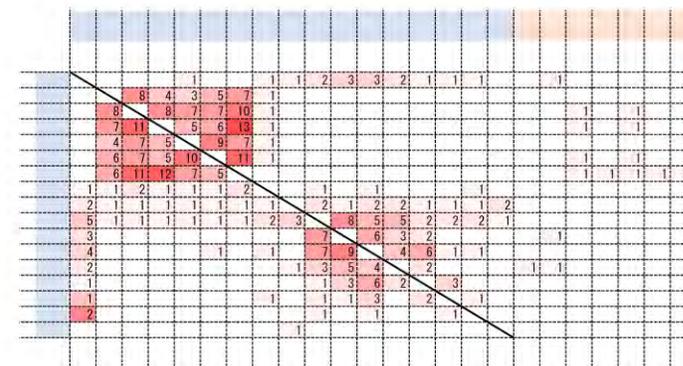
理学・工学



分野融合



人文・社会科学



生命科学

分野	提案件数
人文・社会科学	9 (4.6%)
生命科学	17 (8.8%)
理学・工学	78 (40.2%)
分野融合	90 (46.4%)
人文・社会科学と生命科学	2 (1.0%)
人文・社会科学と理学・工学	18 (9.3%)
生命科学と理学・工学	12 (6.2%)
3分野すべて	58 (29.9%)
合計	194

()内は全体の応募件数の合計に占める割合

No.	グランドビジョン	No.	グランドビジョン
1	言語・コミュニケーション研究の充実を踏まえた現代社会問題のデータ解析による解決策の提示	11	数学・数理科学・量子情報科学が切り拓く未来社会
2	長い時間軸・大きな空間軸・多様な視点からのヒトと社会の科学	12	観測技術革新による地球システムの理解と地球変動予測への展開
3	日本史学を含めた非西洋史学の再構築と国際協働	13	地球規模の環境危機にレジリエントな持続的社会的構築
4	地球の生命環境と食料供給を持続させるための学術創生	14	エネルギーと環境の両立的課題解決
5	生命現象の包括的理解による真のWell-beingの創出	15	持続可能社会に資する革新的な物質・材料の開拓
6	ビッグデータ駆動による生命科学の新たな発展	16	量子ビームを用いた極限世界の解明と人類社会への貢献
7	ヒトの知性を知る、創る、活かすための学術の創生	17	太陽系探査の推進と人類のフロンティア拡大
8	超スマート社会における人の能力拡張とAIとの共生	18	宇宙における天体と生命の誕生・共進化の解明
9	サイバー空間の構築・活用による価値創造	19	自然界の基本法則と宇宙・物質の起源の探求
10	データ基盤と利活用による学術界の再構築		



日本学術会議 令和5年9月25日公表

（審議）

- ・科学者委員会 学術研究振興分科会
- ・同分科会 未来の学術振興構想評価小委員会

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>